

第100回幹事会議事要旨

日時 平成22年7月22日(木) 13:30~15:45

場所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、鈴村興太郎

(第一部) 広渡 清吾、小林 良彰、木村 茂光、山本 眞鳥

(第二部) 北島 政樹、鷺谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、永宮 正治

(事務局長) 竹林 義久

(課長等) 清水 誠、上平 春樹、廣田 英樹、古西 真、原嶋 耐治、

影山 洋一

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 審議事項について審議が行われた。

(1) 科学者委員会における分科会の委員の決定が承認された。

(2) 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定が承認された。

(3) 自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会における分科会委員等の決定が承認された。

(4) 社会のための学術としての「知の統合」推進委員会の設置及び設置要綱の決定が承認された。

(5) 回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」について、大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会北原和夫委員長、広田照幸委員から説明があり、審議の結果、承認された。

(6) 提言「学術誌問題検討について」について、科学者委員会学術誌問題検討分科会玉尾皓平幹事、山本眞鳥副委員長から説明があり、審議の結果、分科会において改めて検討することになった。

(7) 報告「科学者コミュニティから見た今後の知的財産権制度のあり方について」について、科学者委員会知的財産検討分科会隅藏康一幹事、渡部俊也幹事から説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認された。

(8) 定年により退任(平成23年1月)する小館香椎子会員の補欠の会員候補者を推薦する部について、推薦する部(第三部)を決定した。

(9) 日本学術会議協力学術研究団体の指定が承認された。

(10) 日本学術会議が加入する国際学術団体について、環境問題科学委員会(SCOPE)及び国際医学団体協議会(CIOMS)の2団体については、脱退することを承認するとともに、国際社会科学評議会(ISSC)、国際哲学会連合(FISP)、国際宗教学・宗教史学会(IAHR)、国際美術史学会(CIHA)、国際人類民族科学連合(IUAES)、国際地形学会(IGAG)、国際計測連合(IMEKO)の7団体については、加入することを適当と認めた。

(11) 平成22年度代表派遣(平成22年10月~12月分)について承認され

た。

(12) 第11回アジア学術会議に関するモンゴル科学アカデミーとの事前打合せに係る会員の派遣について承認された。

(13) The Kavli Prize Week 2010 等への会員の派遣について承認された。

(14) 第3回 IAP Conference for Young Scientists-2010 への会員の派遣について承認された。

(15) 第20回国際科学会議科学計画評価委員会(20th Meeting of the ICSU Committee on Scientific Planning and Review (CSPR)) 出席に係る会員の派遣について承認された。

(16) シンポジウム等の主催、国内会議の後援について承認された。

(17) 小林良彰科学と社会委員会年次報告等検討分科会委員長から年次報告書の作成について説明があり、年次報告書の構成及び執筆分担について了承された。

3 非公開審議事項について審議が行われた。

(1) 科学者委員会における分科会の委員(特任連携会員)の決定が承認された。

(2) 分野別委員会における分科会委員等(特任連携会員等)の決定が承認された。

(3) 自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会における分科会委員等(特任連携会員等)の決定が承認された。

(4) その他事項として、若手アカデミー活動検討分科会の委員候補者の募集について廣田参事官から説明があり、了承された。